

1005	<ul style="list-style-type: none"> ● 九月。 この夏、四十度を超える猛暑に見舞われた勝沼にも ようやく秋の気配が感じられるようになってきました。
1016	<ul style="list-style-type: none"> ● 大澤家にとっては一年のハイライトです。
1039	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生食用ブドウの収穫がいよいよ始まります。
1047	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉っぱをかき分けて進めば、ひんやりとした棚の下には ずっしりと実をつけたブドウが並びます。
1112	<ul style="list-style-type: none"> ● 連なる黒い粒の房。 これぞ、果樹王国の象徴です。
1123	<ul style="list-style-type: none"> ● 一年に一度しかない大切な収穫の時。 丹精込めて育てたブドウ。 一房一房、出荷の時期を間違えるわけにはいきません。 鋏を入れる瞬間は、まさに真剣勝負なのです。
1153	<ul style="list-style-type: none"> ● 畑には父・昇さんの姿もありました。
1158	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年のごきはごうごししょうか？
1215	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大ベテランの眼は一段と厳しいようです。
1246	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 粒の数は緻密に調整されています。 色艶共に完璧な美しさは、まるで彫刻のよう。

	(NO)
1 3 1 8	● おいしそじー！
	(NO)
1 3 2 3	● 愛情たっぷり育てられたブドウの王様たちは ここぞさらに厳選され、全国の食卓へと運ばれていくのです。
1 3 5 0	● そして迎えた、十月。 今年も丘の恵みに感謝して、ここ勝沼で最も大きな 収穫祭の季節がやって来ました。
1 4 1 1	● 祭りの主役はもちろんブドウ。
1 4 1 8	● 子どもたちが担いでいるのは 何と、ブドウのお神輿です。
1 4 3 3	● 大人には、無料でふるまわれるワインがうれしいですね。 甲州ワインは日本だけでなく、今や世界中から熱い視線を 注がれていると言います。
	(NO)